

第5次熱海市総合計画

概要版

後期基本計画

ATAMI CITY MASTER PLAN



「共に創り 未来へつなぐ 湯のまち 熱海」を目指して

本市では、令和3年(2021年)9月に「共に創り 未来へつなぐ 湯のまち 熱海」を将来都市像とした第五次熱海市総合計画を策定し、令和3年(2021年)度から令和12年(2030年)度までの10年間の基本構想と、令和3年(2021年)度から令和7年(2025年)度までの5年間の前期基本計画に基づいたまちづくりを進めてきました。



前期基本計画では、令和2年(2020年)から始まった新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大や、令和3年(2021年)7月に発生した伊豆山土石流災害により、熱海市は未曾有の危機に直面しました。このため、令和3年(2021年)からスタートした前期基本計画のうち数年間は、これらの課題への対策を最優先したため、計画に位置づけられた新たな施策は着手が難しい状況にありました。しかし、令和5年(2023年)には同感染症が感染症法上の5類に引き下げられ、行動制限の解除と官民の努力により徐々に以前の活気を取り戻し、令和7年(2025年)には熱海市の年間宿泊客数がコロナ禍前を超えることができました。また、伊豆山被災地域の復旧・復興については、令和8年(2026年)度中の道路・河川整備事業の完成を目標とするところまできました。

第五次熱海市総合計画の最大のテーマは「持続可能なまちづくり」を進めることでもあります。人口減少社会であっても、経済が持続的に発展し、その果実として豊かな市民の暮らしが実現できる新たな仕組みづくりを目指しています。そして、その仕組みづくりには、市民、熱海に関わる多様な人々、事業者、そして行政が、従来の役割を再構築しながら、協働していくことが不可欠です。

前期基本計画の計画期間においては、既に述べたような状況にある中で、観光振興と地域経済の活性化を推進する新たな体制整備として宿泊税の導入と熱海観光局の設立、地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制整備、子育て世帯に対する経済的負担軽減のための新たな子育て支援事業など、持続可能なまちづくりの実現に向けた取り組みを実施してきました。

後期基本計画では、更なる人口減少と少子高齢化の進行、多様性を認め合える多文化共生社会の構築、能登半島地震等の近年の大規模な自然災害の発生など、前期基本計画策定後の社会情勢を鑑み、前期基本計画を継承しながらも新たな視点を加えております。基本構想に掲げている「人と人がつながり、健康でいきいきと過ごせるまち」、「多様な魅力を生かした活力あふれるまち」、「地域の特性に応じた機能的なまち」、「子どもの豊かな感性を育み、誰もが生きがいを持てるまち」、「安全で安心して暮らし、過ごせるまち」の5つの基本目標に対し、主要な事業を設け、次なる5年間のまちづくりに取り組んでまいります。

最後に、本計画策定にあたり、活発なご審議をいただきました総合計画審議会の委員の皆様をはじめ、市民・職員合同会議やアンケートを通じて貴重なご意見・ご提言をお寄せいただきました市民や熱海に関わりのある皆様に対し、深く感謝を申し上げます。

令和8年3月

熱海市長

齋藤 栄

後期基本計画策定の趣旨

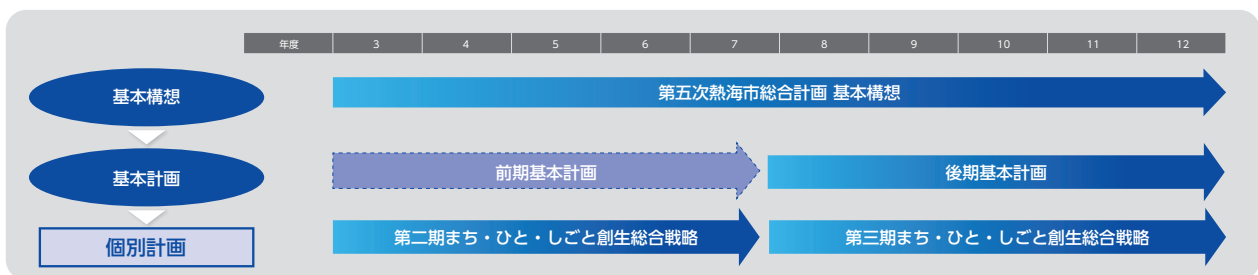
本市では、令和3年度(2021年度)から令和12年度(2030年度)までの10年間を計画期間とする「第五次熱海市総合計画」において、『共に創り 未来へつなぐ 湯のまち 熱海』を目指すべき将来都市像に掲げ、これを実現するために設定した5つのまちづくりの基本目標に基づき、まちづくりを進めてきました。

これまでの間、能登半島地震などの大規模な自然災害の発生や新型コロナウイルス感染症の流行、地球温暖化をはじめとする環境問題など、社会経済情勢は大きく変化しました。

本市においても、令和3年(2021年)7月に発生した伊豆山土石流災害や少子高齢化の更なる進展、宿泊税創設や熱海型DMO(熱海観光局)の設立など、市を取り巻く環境も変化し、その対応が求められています。

このような状況のなか、前期基本計画の計画期間が令和8年(2026年)3月をもって終了することから、前期基本計画の評価や社会経済状況の変化を踏まえ、前期基本計画の施策をベースに時代の潮流や新たな課題に対応した「第五次熱海市総合計画後期基本計画」を策定しました。

計画の構成



将来都市像

1 基本理念

あらゆる世代の人々が、安心して暮らし、働き、学び、活躍するとともに、歴史、文化に誇りを持ち、湧き湧きで湯のように温かなおもてなしのところで訪れる人々を迎える世界に開かれた「湯のまち 熱海」を築いていきます。

2 将来都市像

『共に創り 未来へつなぐ 湯のまち 熱海』

1 共に創り

市民等が地域において何らかの役割を果たしつつ、「地域力」により、地域課題を共同で解決し、行政はその支援をしていく。また、行政分野においては、人口減少社会に対する課題解決手段として、関係人口の創出や周辺市町との広域連携を推進し、共に「まち」を創っていく。

2 未来へつなぐ

産業の活性化によりまちが賑わい、将来の人口減少を抑制し、安定的な財政基盤を構築することで、本市の持続的な発展を図るとともに、温泉、風光明媚な自然環境、歴史・文化を守り、あらゆる地域資源を次の世代に引き継いでいく。

3 実現のための基本視点

1 地域力を存分に発揮する

市民一人ひとりが持つ力を存分に発揮し、地域において何らかの役割を担いつつ、地域課題を共同して解決していく「地域力」を向上させていきます。

2 様々な魅力を生かして新たな産業を創出する

観光業の他に柱となり得る地域資源を生かした新たな産業の創出や起業・創業などを促進し、温泉観光地としてだけでなく産業分野でも存在感を発揮していただけるようなまちを目指します。

3 広域連携により行政課題を解決する

本市が抱える行政課題を解決していく手段として、今後さらに広域連携を推進します。

基本目標

1

人と人がつながり、健康でいきいきと過ごせるまち

1 市民協働のまちづくり

目指す姿

自分たちのまちに愛着を持ち、市民や地域で活動する団体と行政が連携し、安全で安心して住み続けられるまちづくりが住民主体で行われている。

主な事業

- 市民一人ひとりのまちづくりへの参加意識を醸成する機会の提供
- 地域の交流や情報共有の場としての事例発表や意見交換の開催支援
- 現状や課題を共有し、地域の活性化や課題解決に向けた団体間の連携の促進
- 市民や地域団体からの協働によるまちづくりに関する相談・支援体制の整備
- 地域の課題解決のための協働の地域づくり交付金の活用
- 市民や地域、行政が一体となって取り組む協働プロジェクトの推進

3 生涯を通じた健康づくり

目指す姿

市民一人ひとりが、生涯を通じて健康づくりに取り組み、必要な時は周囲の人のサポートや医療を受けながら、誰もが住み慣れた地域でいきいきとした生活を送っている。

主な事業

- 病気の早期発見・早期治療に向けた、対象者に合わせた適切な受診勧奨
- 健康に関する情報を伝えるための各種健康教室の開催や健康相談
- 健康をサポートする医療関係機関との連携による情報共有体制の構築
- ICTなどを積極的に活用した健康づくりに関する情報の集約・発信
- 健康づくりをサポートする組織・団体の活動の支援と育成

2 地域福祉の推進

目指す姿

長く住み慣れた、また、住み始めた地域で住民が共に支えあい、誰もが生涯を通じて生きがいを持ち、人々の多様性を受け入れてつながることで、安心して暮らし続けている。

主な事業

- 市民一人ひとりや世帯が抱える複合化、複雑化した課題解決につながる重層的な支援体制の充実
- 市と社会福祉協議会で連携し、市民、地域活動団体、事業者などの地域福祉を推進する様々な主体を支える取組
- 市民や医療・福祉の専門職、地域、行政が一体となって、医療・介護の提供、予防や健康づくり、生活の支えあいに取り組む「熱海版地域包括ケアシステム」の推進

4 障がい者福祉の充実

目指す姿

障がいのあるなしに関わらず、お互いが尊重しあうとともに、障がいのある人が、自ら望む住み慣れた地域で暮らし続けている。

主な事業

- 基幹的な相談支援体制の整備
- 地域生活支援等拠点等事業の推進
- 短期入所サービスの充実
- 関係機関と連携した就労機会の提供
- 就労継続支援事業所や生活介護事業所など社会資源の充実
- 放課後等デイサービス事業所の誘致
- 成年後見制度の理解と利用促進
- 障がいのある人への合理的配慮に関する理解促進

5 高齢者福祉の充実

目指す姿

年齢を重ねても、長く住み慣れた、また、住み始めた地域とのつながりを大切にしながら生活を続けることで、生きがいを失わず、互いに助けあい、生涯にわたり健康で幸せに暮らしている。

主な事業

- 介護サービス及び高齢者福祉サービスの充実
- 成年後見制度の理解と利用促進
- 認知症サポーター養成講座など認知症施策の充実

7 環境の保全と地球温暖化対策の推進

目指す姿

市民などが自ら環境保全の意識を高め、環境に配慮した行動を実践し、豊かな自然環境や生活環境が守られている。

主な事業

- 再生可能エネルギー・省エネルギー利用システムの設置及び設置支援及び啓発
- 環境保護意識を持つことを促す環境教育・環境学習の推進
- 生活排水などによる河川や海の汚濁防止のための浄化槽の適正管理の啓発強化

9 ジェンダー平等な社会の実現

目指す姿

誰もが平等に機会を与えられ、それぞれの個性を生かし、個人の能力を発揮した働き方や生き方のできる社会が実現されている。

主な事業

- ジェンダー平等や男女共同参画に関する啓発の実施
- 各種団体によるジェンダー平等や男女共同参画に関するセミナーや事業の開催周知
- 男女共同参画の実現のため、審議会等委員への女性登用や、市の女性職員の管理職への登用促進

6 資源環境と廃棄物の減量及び適正処理の推進

目指す姿

環境負荷の低減が図られ、市民、事業者、行政が一体となり、地域の多様な資源を最大限に活用しながら、環境・社会・経済の課題がともに解決している。

主な事業

- 分別品目及び収集体制の見直し及び新たな資源の効率的な再生ルートの確保
- ごみの適切な分別・排出・収集を行うため、様々な媒体によるわかりやすいルールの発信
- 学校・地域・事業所における6R活動への支援

8 消費生活の安定と向上

目指す姿

消費者が商品やサービスに関する正確な情報を入手でき、適正な契約・取引が行われることにより、安全な商品やサービスを安心して消費できている。

主な事業

- 消費生活相談員や消費者団体と連携した講演会や出前講座などによる知識の普及
- 新成人など若年層への消費者教育の充実
- 悪質業者やSNSによる広告、通信販売など契約トラブルに遭いやすい事例の情報発信

10 多文化共生社会の構築

目指す姿

国籍や言葉などの違いを超えて、日本人も外国人も互いに尊重して多様な価値観や文化を理解し、協調の下に、安心して快適に暮らしている。

主な事業

- 多文化共生を実現するためのアクションプランの策定
- 外国人住民の相談窓口の充実や、行政・生活情報の多言語化・やさしい日本語による情報提供
- 日本での生活や文化への理解を深めるための日本語教室の受入体制の整備

多様な魅力を生かした活力あふれるまち

1 観光の振興

目指す姿

多様な地域資源・価値を大切にし、オール熱海のおもてなしで、国内外からの多くの来遊客を迎え入れている。

主な事業

- 熱海型DMO（熱海観光局）との連携による新たな観光振興と地域経済活性化のための施策の実施
- 平日利用促進事業（ビジネス利用促進、インバウンド誘客など）の実施
- ICTの活用も視野に入れた観光ブランドプロモーション、メディアプロモーションの実施

3 起業・創業の支援と雇用の創出

目指す姿

地域資源の活用と循環、地域課題の解決などを通じた起業・創業が生まれ、誰もがやりがいと充実感を感じて働き、活躍できる環境が整っている。

主な事業

- リノベーションまちづくりの推進
- 熱海市チャレンジ応援センターによる伴走型支援の拡充
- 地域課題の解決を目的とした新事業の起業・創業を推進

2 商工業の振興

目指す姿

経済の持続可能な発展を実現し、中小企業をはじめとする地域経済を支える事業者が成長することにより、商工業が活性化している。

主な事業

- 地域の特色を生かした魅力ある商店街空間の創出
- 熱海市チャレンジ応援センター（愛称：A-suppo）による個店支援強化及び事業者間マッチングの推進
- 熱海商工会議所などの関係機関と連携した事業承継支援体制の強化

4 農林水産業の振興

目指す姿

農地・森林の保全と有効活用及び水産資源の保護や育成を進めるとともに、担い手の育つ魅力的な農林水産業が営まれている。

主な事業

- 1次産業の新たな担い手に対する情報提供、活動支援及び助成事業の実施
- 追い払いなどの鳥獣被害防止対策事業及び電気柵などの自衛対策助成事業の実施

地域の特性に応じた機能的なまち

1 地域特性に応じた空間づくり

目指す姿

温泉観光都市としてさらに発展し、熱海らしい景観・環境を保全・活用して、ブランド力を生かしたまちづくりが進んでいる。

主な事業

- 中心市街地の魅力向上に向けたインフラの改修
- 回遊性向上に向けた交通インフラの整備
- 心地よい空間形成に向けた空き店舗などのリノベーションによるまちの新たな魅力の創出

2 住環境の整備

目指す姿

誰もが安全・安心・快適に暮らすことができる、住み続ける・住みたくなる都市の形成に向け、市民などと協働によるまちづくりが進んでいる。

主な事業

- 熱海市立地適正化計画に基づく居住誘導や地域特性に応じた施策の展開
- 多様な住まい方ができるまちの実現に向けた、ニーズや時代に合わせた住宅の更新や住宅ストックの活用促進

3 道路・河川・海岸の整備

目指す姿

誰もが安全・安心・快適に暮らすことのできる、住み続ける・住みたくなる都市の形成に向け、道路などの社会インフラが整備されている。

主な事業

- 県が実施する逢初川河川改修と連携した市道の拡幅整備の推進
- 歩行環境の改善による徒歩での移動がしやすいまちづくりの推進
- 橋梁の修繕工事と耐震補強工事の計画的推進

4 公園・緑地の整備

目指す姿

誰もが安全・安心に利用できるよう、それぞれの特性を生かした市民参加型の魅力ある公園づくりが行われている。

主な事業

- 市内の公園施設の状況把握のもと、公園ごとの特性を明確にした再編、集約、更新、長寿命化などの計画的な公園の整備
- ニーズに沿った健康遊具などの整備

5 安全な水の安定供給

目指す姿

健全な経営の維持と強靱な水道施設への計画的な更新を進め、安全な水を安定供給している。

主な事業

- 安全な水の持続供給に向けた浄水場の整備・更新、耐震化工事の計画的な実施
- 安定した水の供給のための水道施設や管路の更新・耐震化の計画的な実施
- 中長期的な事業運営を見据えた自己水源の有効活用の推進

6 市営温泉の安定供給

目指す姿

源泉の保全を図りながら安定供給を維持し、幅広く市営温泉を利用してもらうための情報発信を行い、健全な経営を継続している。

主な事業

- 源泉保全のための改修工事
- 安定供給を維持するための計画的な管路・施設更新
- 健全経営を継続するための効率的な動力装置への更新工事

7 下水道施設の整備

目指す姿

公共下水道を軸とした污水处理施設により安定的に汚水が処理され、川や海の水質保全や快適な生活環境が保たれている。

主な事業

- 熱海市公共下水道ストックマネジメント計画に基づく計画的・効率的な管路施設や下水処理場などの管理（点検・調査、修繕・改築）の実施
- 戸別訪問、施設見学、広報誌・新聞・ホームページなどによる下水道接続普及促進活動及び下水道事業情報の発信
- 地域からの要望などを踏まえた公共下水道未普及地域における下水道管の新設整備の検討



1 子ども・子育て支援の推進

目指す姿

子どもの最善の利益の実現に向けて、家庭、学校、職場、地域など社会全体で子育てを応援し、住み慣れた地域で安心して子どもを育てている。

主な事業

- 妊娠から子育てまで切れ目のない一体的な支援
- 教育・保育の需要の変化や少子化などに対応した望ましい教育・保育環境の整備
- 地域子育て支援事業の充実

2 熱海らしい特色ある教育の推進

目指す姿

熱海の子どもたちが5年後、10年後の社会情勢に対応して生きていくことができる力と熱海を愛する心を育む教育を進め、国内外で活躍する人材・熱海で活躍する人材が育っている。

主な事業

- 地域や保護者の意見を取り入れた、望ましい教育環境の整備
- 外国語でコミュニケーションを図る能力の育成に向け、英語体験学習やオンライン学習の導入

3 文化の振興

目指す姿

「文化力」が地域社会を活性化させるとともに、地域文化が確実に次世代に継承され、市民と行政の協働による文化振興が行われることにより、熱海への郷土愛が醸成されている。

主な事業

- 文化資源の調査、新規の文化財の指定、歴史・文化に関する講座、体験学習の実施
- 史跡江戸城石垣石丁場跡の保存活用体制の検討、整備基本計画の策定
- 名誉市民杉本苑子先生の遺志を踏まえた（仮称）熱海文学館の開設

4 生涯学習の充実

目指す姿

誰もが生涯にわたり学ぶことができ、学んだ成果を他者と連携・協働しながら地域のために活用し、各世代間の交流やつながりが促進されることにより、いきいきと学び、活動できる循環が形成されている。

主な事業

- ホームページ及び SNS を活用した生涯学習活動の情報発信
- 学びのきっかけ、人とのつながりとなる市民大学講座・市民教室の開催
- 公民館寺子屋など地域学校協働活動として地域との連携による開催

5 スポーツの推進

目指す姿

市民一人ひとりが生涯にわたりスポーツに親しむことができる豊かな生涯スポーツ社会が実現している。

主な事業

- 各ライフステージに応じて、eスポーツやニュースポーツなど、誰もが楽しむことができるスポーツ教室の開催
- 子どもたちが多様なスポーツを体験して自分に合ったスポーツを見つけられる、こどもスポーツ体験教室の開催



1 消防・救急体制の強化

目指す姿

火災予防の推進によって火災の発生を未然に防ぎ、消防救急体制を強化し、住む人も訪れる人も安心して過ごすことができる。

主な事業

- 火災予防の啓発活動
- 住宅用火災警報器の設置・維持管理の促進
- 消防法令などに基づく予防査察及び違反是正

2 防災体制と地域防災力の向上

目指す姿

防災・減災に対し、「自助」・「共助」・「公助」が一体となった取組が行われている。

主な事業

- 防災ガイドブックの活用、「わたしの避難計画」作成などによる防災意識向上のための啓発活動
- 防災訓練や地域防災連絡会議の実施
- 自主防災会の資機材整備や地域防災リーダー育成の支援

3 安全・安心な暮らしの充実

目指す姿

地域住民が交通安全や防犯への意識を高く持ち、地域で助けあい、誰もが「安全・安心」に暮らしている。

主な事業

- 市民安全大会の開催による交通安全、防犯、暴力団追放の意識の啓発
- 地域安全コミュニティ会議、防犯協会への支援
- 防犯に対する市民への情報発信及び支援



持続可能な行財政運営

持続可能な行財政運営

目指す姿

将来都市像の実現を目指し、中長期的な視点にたった計画的な行財政運営が展開されている。

主な事業

- 第五次熱海市総合計画、第三期熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況の管理・検証
- 将来負担・財政リスクを踏まえた予算措置と市税など自主財源の安定的な確保



第三期熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略

1 戦略の体系

本市が、将来にわたって「活力ある地域社会」の実現を目指すため、第二期の成果と課題などを踏まえて、以下のとおり、次の5つの基本目標の下に取組を進めます。

基本
目標

1

選ばれる地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、
地域と地域を連携する

基本
目標

2

若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

基本
目標

3

稼ぐ力を高めることで若者の安定した雇用を創出する

基本
目標

4

新しい人の流れをつくる

基本
目標

5

変化しつづける温泉リゾートを目指す

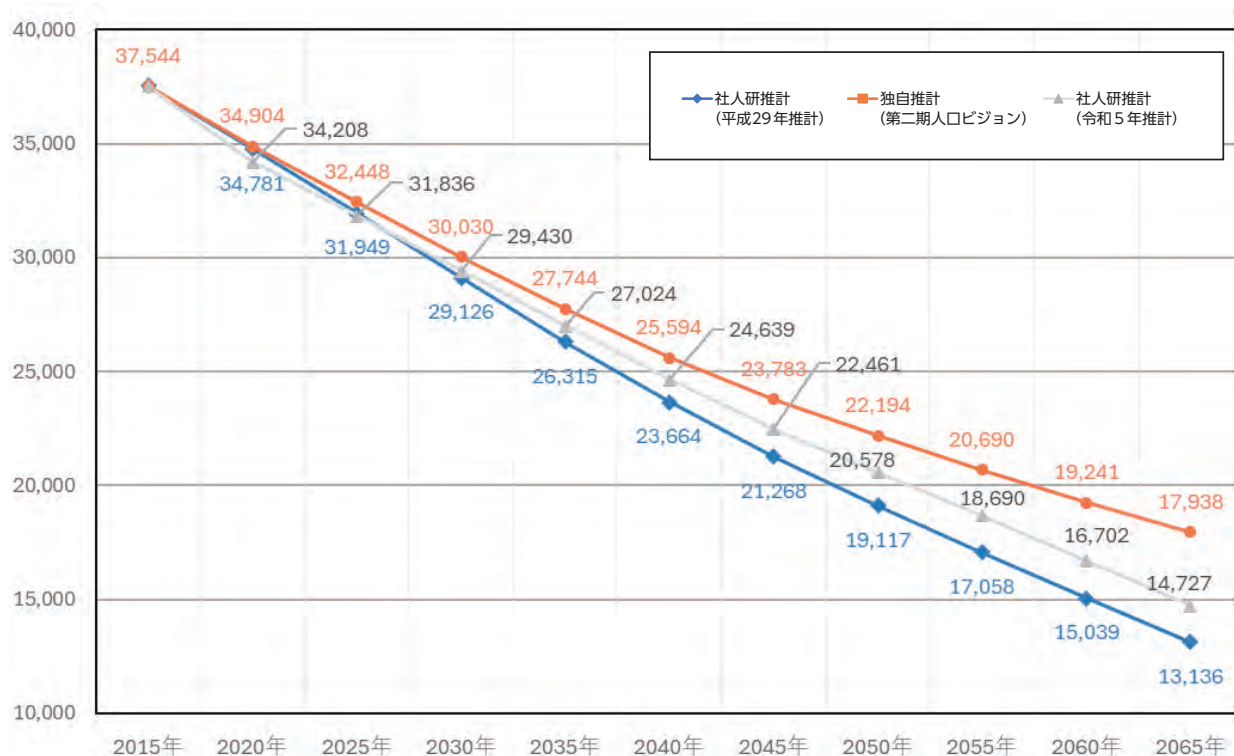
第三期熱海市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

1 第二期人口ビジョンの振り返り

現状の第二期人口ビジョンと最新の社人研推計(令和5年推計)を比較すると、2060年時点で、第二期人口ビジョン策定時の国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」よりも1,663人増えており、人口の将来展望までには到達してはいないもののプラス水準となっています。

■ 現状人口ビジョンの人口推計と最新の社人研推計との比較

(単位：人)



2 目指すべき将来の方向

1 人口の確保

転出超過数の半減を目指して若い世代に選ばれるまちづくりを進めるとともに、子育て世帯の転入も促進します。

2 地域間の増減差の低減化

豊かな自然や観光資源、文化、スポーツ、食など各地域の特性を生かしつつ、都市機能や居住を誘導し、地域間の連携を強め、地域に暮らす多様な住民が安心して暮らし続けられる魅力的な地域づくりを推進します。

3 関係人口の創出・拡大

地域の課題解決や活性化につながる様々な関係への深化に向けて、二地域居住者や観光交流客にも選ばれるまちづくりに積極的に取り組みます。

